

ファルコンTMフロアブル

ユニークな、ファルコンの効果。

ファルコンフロアブルは、チョウ目害虫に脱皮促進作用を示し、すぐれた速効性を発揮します。

脱皮促進作用

2~3日後には致死。

本剤は幼虫の脱皮を急激に促進させます。
幼虫は成長が追いつかず脱皮失敗で死亡します。



チャハマキ

脱皮促進剤

ファルコン
フロアブル

散布



幼虫

2~3日後
脱皮不全
致死

10数時間後
脱皮促進
食害停止

食害防止作用

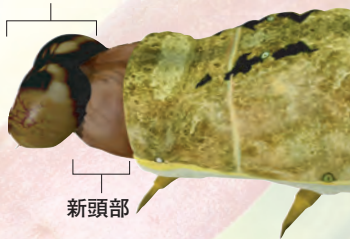
10数時間後にはストップ。

成分が体内に入ると、幼虫の生理状態は脱皮間近の状態に変わり食害が止まります。

【ダブル・ヘッド・キャップ現象】

脱皮促進作用により右図のような現象が見られる場合があります。脱皮後も、新頭部から前の頭殻が抜け落ちず口器がふさがれてしまいます。

前齢期の頭殻



新頭部



食欲旺盛なチョウ目害虫に効く。*各害虫はそれぞれ、色や大きさなどに個体差があります。



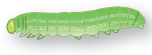
ヨトウムシ



コナガ



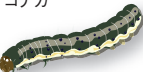
タマナギウワバ



モンシロチョウ(アオムシ)



ハスモンヨトウ



オオタバコガ



ハイマダラノメイガ



シロイチモジヨトウ

米国環境保護 貢献賞受賞

ファルコンの有効成分とその製造過程が環境に充分配慮されていると認定され、1998年に米国環境保護局よりグリーン・ケミストリー賞が授与されました。



250ml

125ml

®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

適用害虫と使用方法

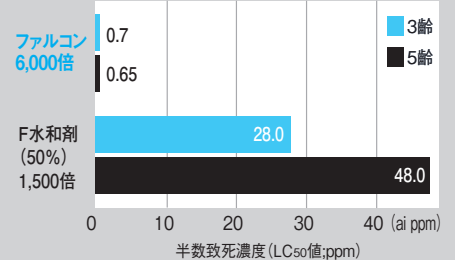
処理方法：散布

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール当り 散布液量(ℓ)	使用時期*	総使用回数*
キャベツ	コナガ	1,000	150~300	7日	2回
	アオムシ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ タマナギンウワバ	2,000~4,000			
	オオタバコガ	2,000			
	ハイマダラノメイガ				
はくさい だいこん	アオムシ、ヨトウムシ	4,000	100~300	3日	3回
ブロッコリー	ハスモンヨトウ ヨトウムシ	2,000~4,000	150~300	前日	2回
はなっこりー	ハスモンヨトウ				
レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ				
非結球レタス	オオタバコガ				
ふぎ	ハスモンヨトウ	100~300	3日	3回	
ねぎ	シロイチモジヨトウ	150~200	前日		
いちご	ハスモンヨトウ オオタバコガ	4,000	3日		
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	100~300	前日		
ピーマン なす トマト	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2,000~4,000	100~300	前日	2回
ししとう	ハスモンヨトウ オオタバコガ	4,000			
はすいも(葉柄)		2,000	100~150	3回	
つるな 食用ぎく	ハスモンヨトウ	4,000	150~180		
食用金魚草		4,000	200		
てんさい	ハスモンヨトウ	4,000	150~200		
りんご	ヨトウムシ	4,000~6,000	100~150	7日	3回
	ハマキムシ類	4,000~6,000	200~700	21日	
	ケムシ類、ヨモギエダシヤク キンモンホソガ	6,000 2,000			
おうとう、もも	ハマキムシ類	6,000			3日
なし	ケムシ類、ハマキムシ類	4,000	前日	2回	
茶	チャハマキ	4,000	200~400		摘採7日
	チャノホソガ チャノコカクモンハマキ ヨモギエダシヤク	4,000~8,000			
	ハスモンヨトウ	8,000			

※収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤及びメキシフェノジドを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

中老齢幼虫にも活性が高い

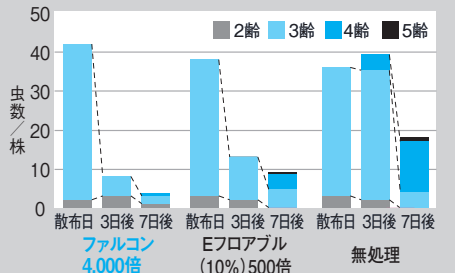
ヨトウムシに対する効果(2000年 社内試験)



てんさい新葉の葉液浸漬法(30秒間)。7日目の死虫数にて計算。

齢のすすんだ幼虫がいなくなる

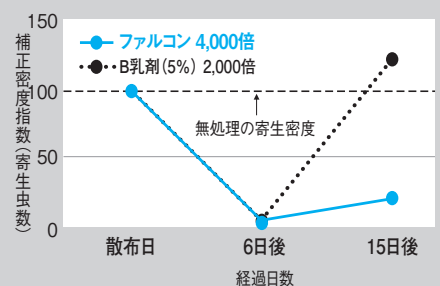
ハスモンヨトウに対する効果(1999年 高知県農業技術センター)



作物:ピーマン(ビニールハウス、定植:9月27日)
発生量:10月28日に2、3日齢幼虫を接種 散布日:10月29日(栽培初期)

残効性があり、耐雨性に優れる

タマナギンウワバに対する効果(2001年 岩手県農業研究センター)



作物:キャベツ(定植:6月16日) 散布日:7月10日(結球初期)

有用昆虫に影響が少ない

ミツバチ、マルハナバチなどの受粉昆虫や、幅広い天敵に対して実用濃度で影響がないことが確認されています。

◎ファルコンの影響がないことが確認されている有用昆虫

受粉昆虫

●西洋ミツバチ ●マメコバチ ●ツチマルハナバチ(マルハナバチの一種、主に受粉に利用されている種類)

天敵類

●カタグロミドリカスミカメ ●ズイムシアカタマゴバチ ●ケナガカブリダニ ●オオヒメグモ
●アシナガグモ ●チリカブリダニ ●ヒメハナカメムシ ●コレマンアブラバチ
●オンシツツヤコバチ ●ナミテントウ ●ハモグリミドリヒメコバチ ●イサエアヒメコバチ

⚠️ 効果・薬害等の注意

- 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- 桑に付着するおそれのある地域では使用しないでください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。

- 使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。

⚠️ 安全使用上の注意

- 散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場等に放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2013年8月現在の知見に基づき、作成されています。